

桐生市・みどり市の連携強化と広域経済交流の促進について（継続）

桐生商工会議所が長年にわたり要望しておりました桐生市とみどり市との合併推進につきましては、平成28年5月にみどり市から任意合併協議会の設置の見送りが正式に伝えられ、合併協議にピリオドが打たれました。

かつて一市三町三村で構成されていた桐生広域経済圏は互いの地域特性や立地条件が有効に活かされ、長い広域圏行政のもとで将来の豊かな発展を構想しつつ緊密な連携を深め、共に歩んでまいりました。行政として両市が分断されている状況は、住民生活はもちろん産業活動や地域振興、観光面などあらゆる分野において様々な問題が生じております。桐生市とみどり市が互いの地域コミュニティを保ちつつ、連携し補完し合いながらひとつの経済圏、生活圏を形成していくことこそ、地方創生を具現化するものであると考えます。

当所と桐生広域圏内の商工会は、昭和47年に広域経済交流団体としての「赤城地区経済交流会」を発足、現在は「桐生市・みどり市経済交流会」と名前を変えて広域経済交流を推進しております。当所といたしましては、桐生市とみどり市との合併推進は組織発足以来の変わらぬ基本姿勢であり、将来の実現を強く望むものであります。

桐生・みどり両市長が、ともに両市の連携強化に積極的に取り組まれておりますことは、産業界として大いに歓迎すべきことであります。桐生市におかれましては、両市の連携強化と併せて広域経済交流の促進について、引き続き市政運営に反映していただきたく強く要望いたします。

桐生市からの回答

桐生市・みどり市につきましては、長年に渡る広域圏行政のもとで一つの経済圏、生活圏を形成してきた経緯があり、今後も地域経済の活性化に向けて、両市が連携し補完しながら広域的な経済交流の促進等を図っていくことが重要なことと認識しております。

本市ではこれまでも、みどり市を始めとした周辺自治体とも連携を図りながら、行政の枠組みを超えた、広域的な経済交流の促進に努めてまいりました。代表的な事例である「ビジネスマッチングフェア」につきましては、みどり市を含む周辺自治体のほか、貴所や桐生信用金庫など、複数の主催団体と密接に連携しながら、一体となった支援体制の下でイベントを開催することにより、広域的な経済交流の促進はもとより、それを支援する自治体間の連携強化等も図ってきたところであります。

本イベントに限らず、今後も貴所を中心とした産業団体や金融機関等との連携強化を図る中で、両市の連携促進に努めるとともに、行政の枠組みを超えた経済交流活動の活性化や経済循環の拡大等を推進してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕産業経済部商工振興課産業立地戦略担当

桐生市・みどり市の連携強化につきましては、これまで以上に両市が緊密に連携し、各分野における政策を進めることで、行政の効率化や市民サービスの向上を図ることを目的に、両市共同で「桐生・みどり未来創生会議」を設置しております。第1期桐生・みどり未来創生会議では、公共交通、観光、防災・防犯、教育など、7つの連携テーマについて

の協議を進める中で、それぞれの分野において新たな連携事業が開始されるなど、連携の強化が図られてきております。また、現在、行われている第2期桐生・みどり未来創生会議では、公共施設のあり方と広域観光の2つにテーマに絞り、更に深めた協議を進めております。今後も、本会議での意見を踏まえ、両市の更なる連携強化に努めてまいりたいと考えております。

[回答担当] 共創企画部企画課企画戦略担当